

I.会社概要



代表取締役
吉角 裕一朗

【会社概要】

社 名 :	株式会社コーンテック
代 表 取 締 役 :	吉角 裕一朗
所 在 地 :	〒861-8045 熊本県熊本市小山3-1-6
設 立 :	2019年10月25日
事 業 内 容 :	養豚プラントの設計・施工・コンサルティング
資 本 金 :	3,500万円(準備金含む)
発 行 済 株 式 数 :	89,400株
従 業 員 数 :	10名(常勤・非常勤・技術顧問含む)

【株主構成】

株主名	株数	比率
吉角 裕一朗	65,875	73.7%
篠崎 幸男	12,750	14.3%
鈴木 吾朗	6,375	7.1%
個人投資家297名	4,400	4.9%
		0.0%

【業績概要】 単位百万円

	売上高	前年比	売上総利益	前年比	営業利益	前年比	当期純利益	前年比
2020年9月期(予想)	80	-	38	-	-19	-	-20	-
2021年9月期(予想)	580	725%	232	-	103	-	73	黒転
2022年9月期(予想)	870	150%	348	150%	160	-	103	142%
2023年9月期(予想)	1,260	145%	504	145%	284	177%	185	179%

【主要メンバー経歴】

代表取締役社長 吉角 裕一郎

1982年、熊本県生まれ。24歳で起業。自動車の再生バッテリーの通販事業を開始する。現在は自動車用バッテリーの通販事業、蓄電システムや工事現場用バッテリーのレンタル事業を経営する傍ら、コーンテック事業を事業承継し新体制でスピーンアウト。

取締役CFO 鈴木 吾郎

2015年3月(株)リンクスを創業、「レンタルCFO」として複数ベンチャー社外CFOとして、人工知能の東工大発ベンチャー SOINN(株)で3億円、事業所内託児BPO事業(株)ママスクエアで約4.8億円など顧問先のビッグディールに携わる傍ら、M&Aなど出口戦略まで幅広いサポート。

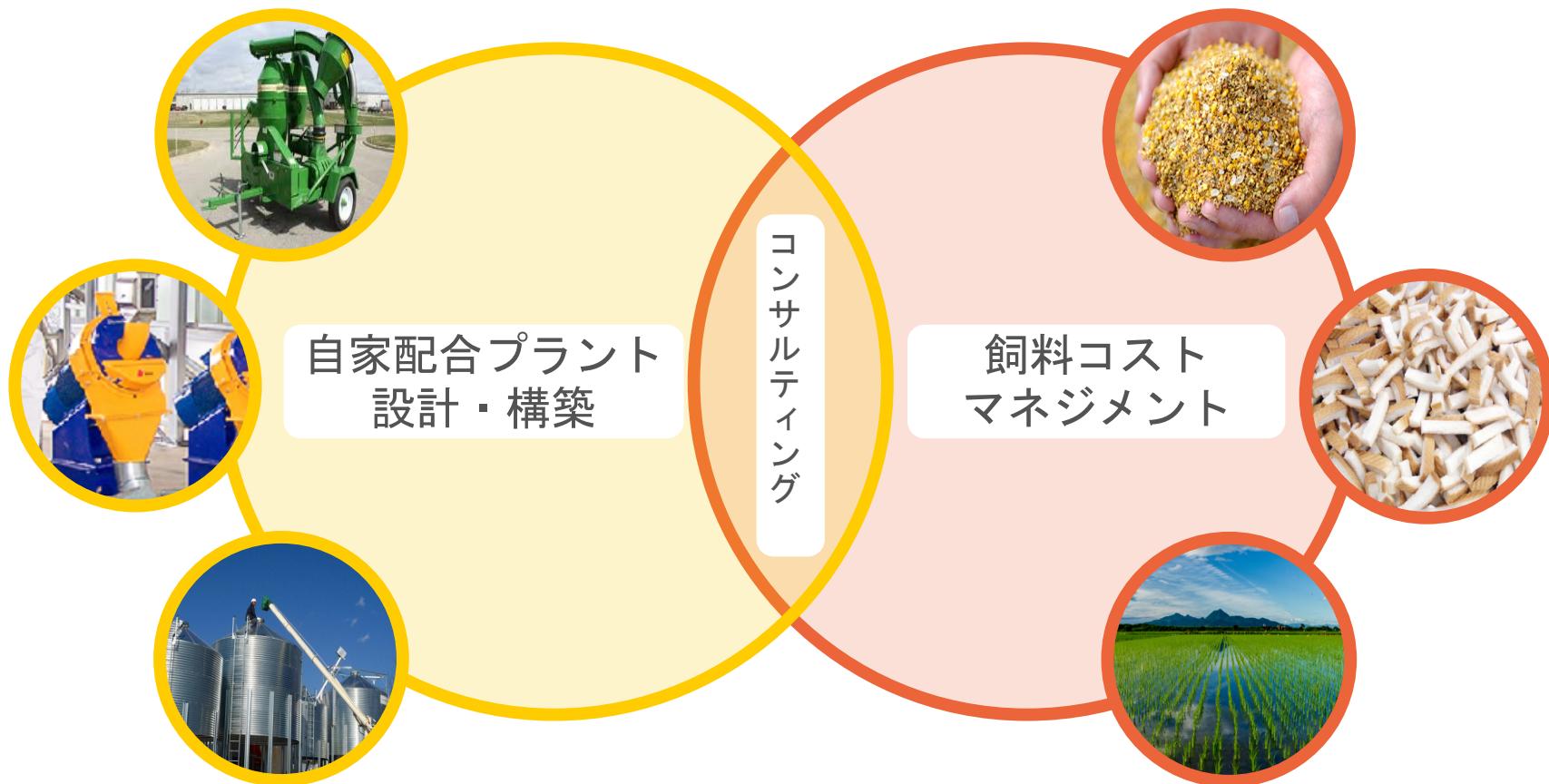
取締役CTO 足高 圭介

2004年 図書館情報大学大学院 情報メディア研究科 情報学専攻修士課程修了大学院ではニューラルネットワークを使ったパターン認識の研究を行う。ガラケー時代よりAI、音声技術の研究をはじめ、IVSで優勝。多くのベンチャー企業のCTOを務める。

II. ビジネスマodel Part1：提供方法

提供方法

自家配合プラントを導入した100か所以上の実績に基づいたノウハウを活かし、お客様の環境にあった自家配合プラントの設計・建設を全て請負います。また弊社では、この栄養価のバランス調整も行いながら、畜産農家ごとの「自家配合プラント」を形成していくことで、家畜の成長のスピードアップや、出荷頻度を高めることもできます。結果、この自家配合プラント導入後、20~30%以上のコストを削減し経営改善を実現しております。



II. ビジネスモデル Part2：収益モデル

ビジネスモデル

1. 養豚農家の豚舎に合わせて自家配合飼料プラントを設計
2. 飼育頭数などに合わせて必要な設備機器をメーカーより手配
3. 現場での建設人員の確保・設営時の現場でのディレクションを行う

自家配合飼料プラント
設備メーカー



設備機器の調達

CORNTAC

納品

養豚農家



- ・養豚農家の豚舎に合わせて設計
- ・設備機器の手配
- ・設営人員の確保
- ・設備設営のディレクション
- ・飼料配合のアドバイス・コンサルティング

+

AI/IoT/ICTを活用した
養豚の最適育成モデル

骨格分析



個体識別



カロリー管理

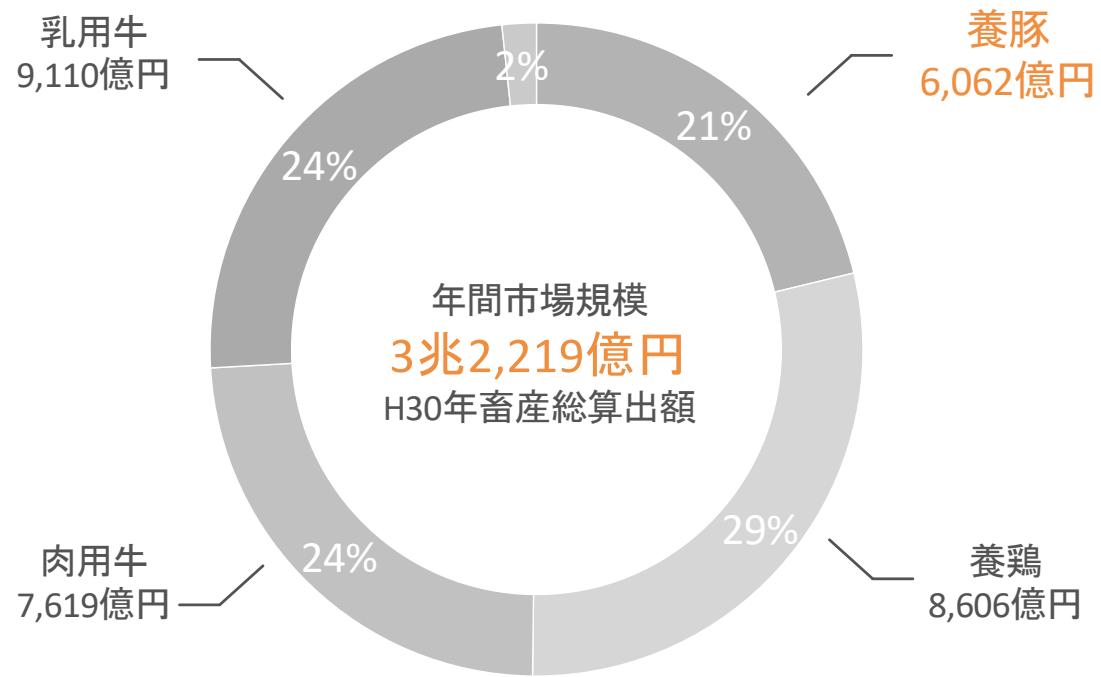


餌の消費



SaaSモデルで提供
(予定)

III. 市場規模 Part1：国内の畜産事業規模

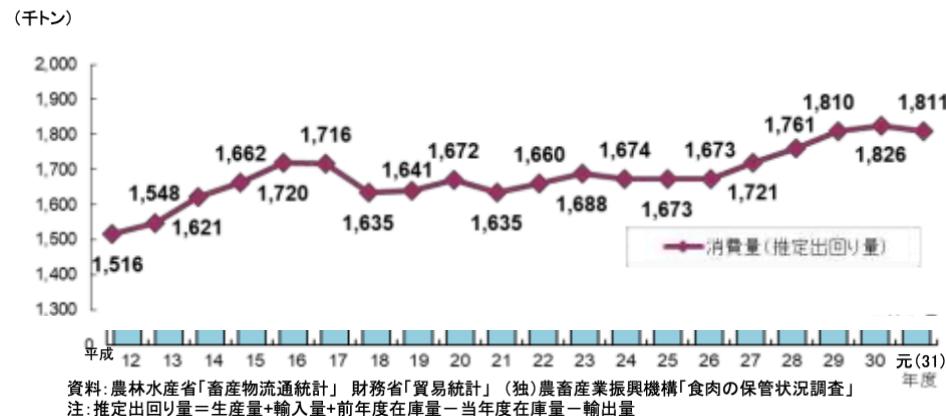


養豚のみで年間**6,000億円**
畜産全体で年間**3兆円**の規模が対象となる

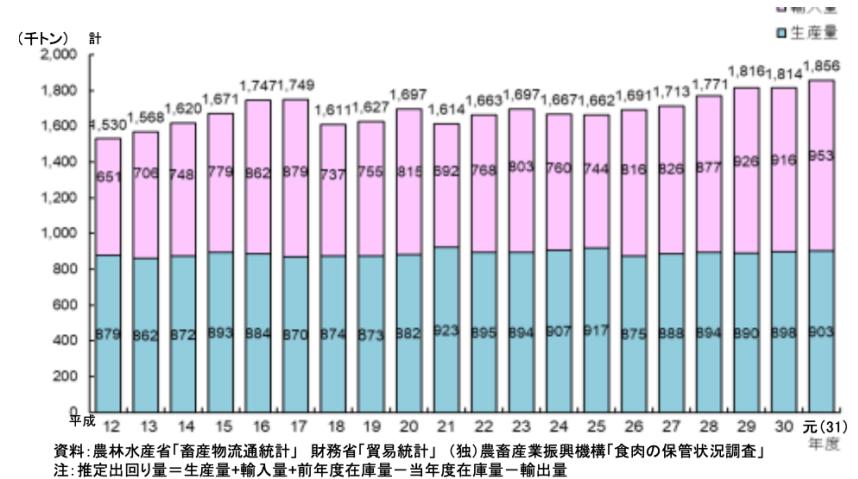
(資料) 畜産の動向
令和2年1月 農林水産省生産局畜産部

III. 市場規模 Part2：国内の畜産事業規模

豚肉の消費量推移



国内生産と輸入の割合



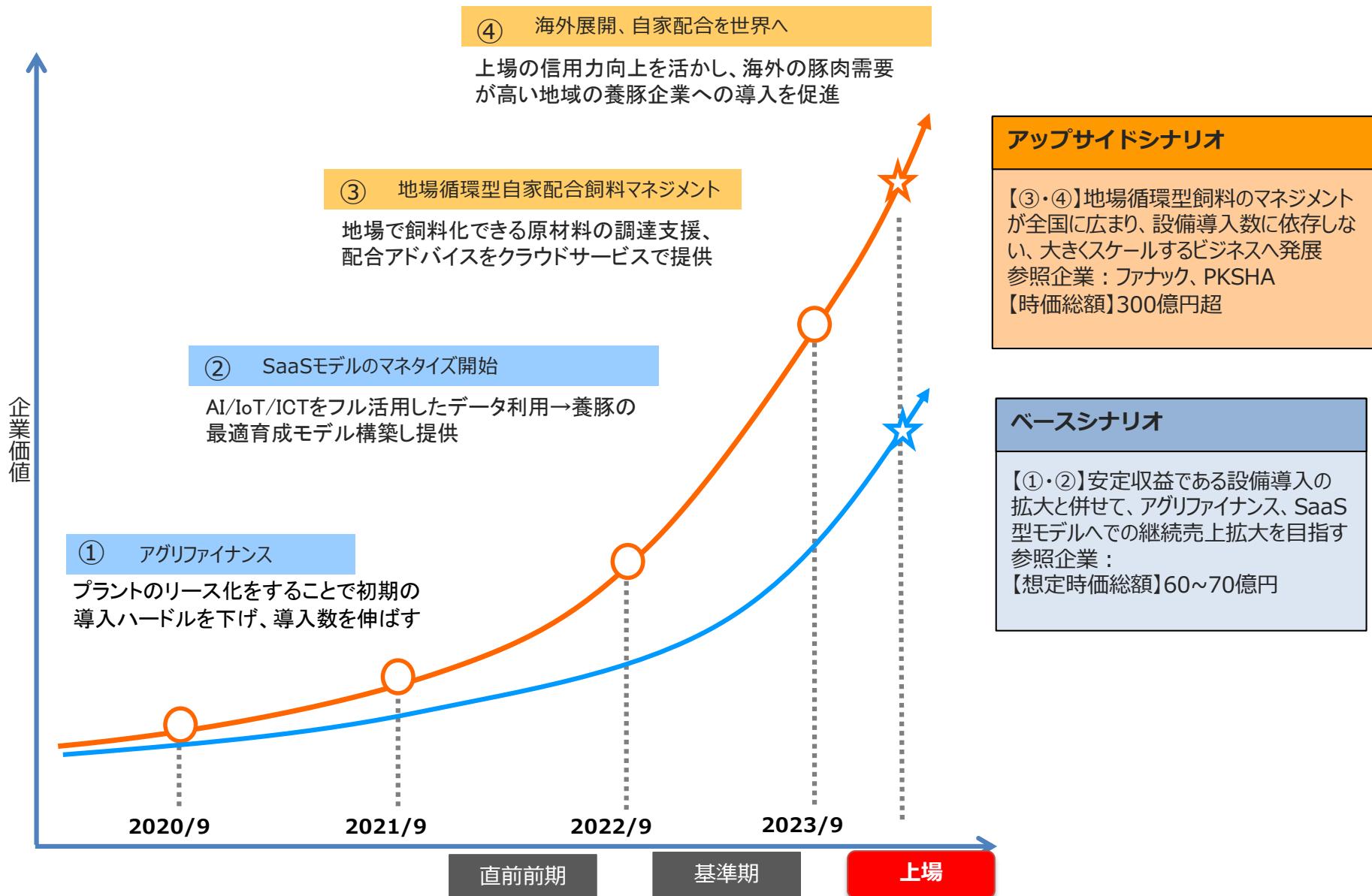
(資料) 畜産・酪農をめぐる情勢
令和2年1月 農林水産省生産局畜産部

国内の消費量は緩やかに右高上がりで年間181万トン
年間消費の約50%は輸入で賄われている状況

IV. 競合分析

会社概要				
社名	コーンテック	Eco-Pork	AmaterZ	システムフォレスト
設立	2019年	2017年	2016年	2004年
市場	未公開	未公開	未公開	未公開
売上	80百万円	-	-	7億8,300万円
従業員数	8人	-	5人	35人
サービス概要				
サービス名	自家配合プラント 飼料マネージメント	Porker	tukumo (ツクモ)	みえる豚 Light
コーンテック協業	-	-	-	-
概要	畜産の工サを安く作るためのコンサルティングおよび直配合施設と呼ばれるプラントの設計 カメラや気温、湿度、気象予測、土や餌の状況など全てをモニタリングしAI/IoT/ICTを活用した養豚の最適育成モデルの提供	農家用・獣医向け養豚管理システム「Porker」 農場データ・農場情報の記録と確認でき農場成績をダッシュボードで一元化して管理できる	温度や湿度、明るさや振動など様々な環境データを吸い上げ、飼育に適した畜舎作りにも活用できる。近距離無線通信「ブルートゥース」と920メガヘルツ帯の無線通信に対応し、1キロメートル先までデータを飛ばすことができる	豚舎の管理に必要不可欠な「温湿度」と「流量」を見える化スマートフォンやパソコンにて豚舎の状況をリアルタイムに把握する事ができる
価格	自家配合プラント 3,000万円~	母豚1頭 600円/年 初期導入費用 (20万円~)	-	導入費用 : 30万~40万円 1センサーあたり1.2万~15.5
飼料コスト削減	○	×	×	×
養豚分析	○	×	×	×

V. 成長戦略 エクイティストーリー



VI. 資本政策

【資金使途】

- 人件費(開発、営業) : 75百万円
- 広告宣伝費 : 10百万円
- 業務委託費・地代家賃 : 15百万円

類似平均営業利益PER : 43.0倍(IPOディスカウント30%、販売手数料8%考慮済み)

想定時価総額 : 7,934百万円

投資倍率 : 5.99~10倍

シリーズBに向けたマイルストン

- i 新規・継続含めて、当サービスを利用する顧客数、単価のKPIが確認できる(事業計画ベース)
- ii 年約3億円の設備売上に加え、IoTニーズのある潜在顧客の規模が、上場に至る水準まで確認できる(実績を考慮したターゲットリスト)
- iii 本ファイナンスで得た資金を使ってアクセラを踏んだ後のLTV-CAC>0の確認

	電子機器サービス		AI解析サービス		
	キーエンス	ファンック	PKSHA Technology	HERO Z	Kudan
証券コード	6861	2053	3993	4382	4425
決算期	2020.3	2019.8	2019.9	2020.4	2020.4
売上	551,843	508,252	3,061	1,155	456
営業利益	277,631	88,350	720	459	9
当期利益	198,124	73,371	409	255	▲ 29
<参考>営業利益率	50.3%	17.4%	23.5%	39.7%	2.0%
株主資本	1,758,083	1,355,100	26,650	6,182	923
発行済株式数(千株)	243,208	30,372	30,597	14,917	7,302
株価	43,080	1,581	2,595	3,640	3,690
時価総額	10,477,383	48,018	79,400	54,299	26,944
営業利益PER	37.7	0.5	110.3	118.3	2,993.8
PBR	6.0	0.0	3.0	8.8	29.2